

平成23年度「通訳とHIV感染症」研修会 募集要項

1 研修の目的：

わが国において、在留外国人のHIV感染症・エイズ問題は重要な対策の一つです。

HIVに感染した在留外国人が安心して医療を受け、地域で生活していくためには、言語の障壁を解決する必要が出てきますが、大きな力になるのが通訳の活動です。通訳は医療や福祉等への橋渡しという大切な支援の役割を担っています。

研修では、HIV感染症の医療や心理的・社会的支援、HIV通訳の特徴や留意点等を学びます。国籍による制限はありませんが、日本語での講義内容を理解できることが研修受講の前提になります。また、HIV感染症に関する医療の場での通訳を中心とした研修であるため、基本的な医療通訳の知識を有する方を優先します。

2 日程：平成24年1月28日（土）・29日（日）

（※同時に「NGO指導者研修会」も開催しプログラムの一部は合同となります。）

3 研修場所：セミナーハウス クロス・ウェーブ東中野（東京都中野区東中野 4-5-14）

4 プログラムの内容（タイトル・内容等は変更することがあります。）

【1日目】

9：45～10：10	受付
10：10～10：30	開会 挨拶 オリエンテーション※
10：30～12：00	講義Ⅰ「HIV／エイズの疫学と治療について」※
12：00～13：30	昼休み
13：30～14：40	講義Ⅱ「HIV陽性者の心理と支援」
14：40～14：50	休憩
14：50～16：00	講義Ⅲ「外国人陽性者の社会的困難」
16：00～17：00	情報交換会

【2日目】

9：30～10：00	1日目からの質問とまとめ
10：00～11：00	講義Ⅳ「医療通訳技術の基礎」 正確な通訳をするための方法と通訳の役割
11：00～12：00	演習Ⅰ「性の多様性」
12：00～13：00	昼休み
13：00～15：00	演習Ⅱ「HIV通訳の実際」
15：00～15：30	全体のまとめ
15：40～16：00	修了式

（※印のあるプログラムは、NGO指導者研修との合同講義です。）

5 募集対象と募集人員

募集対象：

- ①外国籍の HIV 感染者やその家族の支援において、病院検査機関・地域で通訳としての業務経験がある者、あるいは今後その可能性がある者
- ②地域で NGO 団体として外国籍の HIV 感染者やその家族への通訳の支援活動を行っている者、あるいは今後その可能性がある者

募集人員： 30名程度

- 6 申し込み方法:別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、直接、エイズ予防財団へご提出ください。

※「受講希望の動機」は選考の基準となりますので、必ずご記入ください。

※エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp> から申込書をダウンロードすることができます

- 7 募集締切日:**平成 24 年 1 月 6 日(金)必着**

申し込みは、郵送、あるいはファックスでお願いします。

※締切日を過ぎてからのお申し込みは、お断りすることもありますので、必ず締切日をお守りください。

- 8 受講者決定通知:選考結果は、受講決定者に**平成 24年1月 13 日**までに郵送又はメールで、詳細なプログラムと共に通知します。研修生決定後の研修生変更は原則として認めません。

- 9 参加経費：1人当たりの参加経費は次のとおりです。

受講料 . . . 5,000 円

ただし NGO/NPO の方 . . . 3,000 円

- 10 その他：

(ア) 宿泊については各自でお手配願います。

(イ) 昼食は、研修施設周辺で各自お願いいたします。

- 11 問い合わせ及び申込書送付先:

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1-3-12 水道橋ビル 5 階

公益財団法人エイズ予防財団「通訳と HIV 感染症研修会」係

担当：中村・柏崎

電話:03-5259-1811 FAX:03-5259-1812

(参考)エイズ予防財団ホームページ

① <http://www.jfap.or.jp/>

② <http://api-net.jfap.or.jp/>

③ <http://api-net.jfap.or.jp/i/> (携帯電話用)